

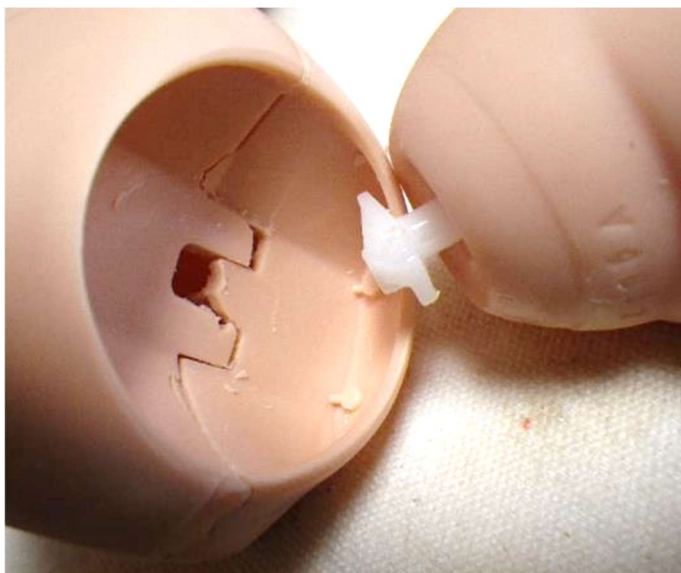
人形の足が外れた

ゆきや (2022. 3. 18)



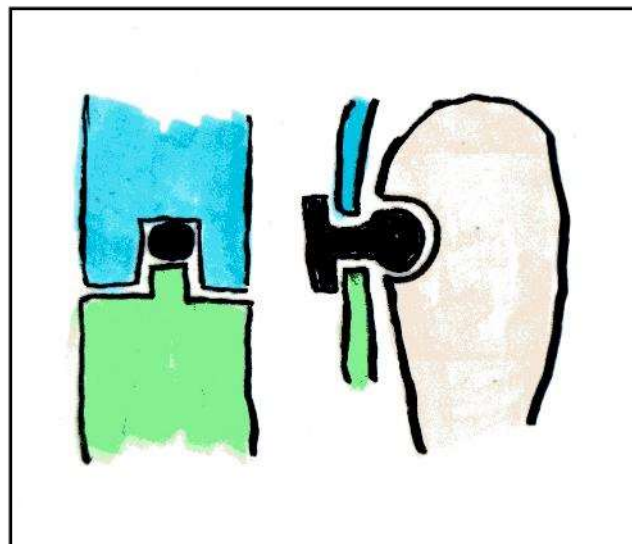
またまた足の外れた人形が来ました。
右足の付け根が割れて、外れてしまったのです。
左足は付け根の状況を見て参考にするために、
外してみました。
胴体の両側の合わせ目にも、大きくヒビが入っています。相当強烈な力が加わったのでしょう。

まず、壊れていない左足の付け根と、接続部の様子を見ます。
胴体の前後の合わせ目に、5ミリ角の穴があり、そこに太ももからのホゾが入る訳です。



図にすると右のような感じでしょうか。
脚には球形の関節が埋め込まれ、
そのホゾのもう一方の端はT字形で、
体内に埋め込まれます。

ホゾを噛み込むのが、5ミリ角の
すき間を作り出す二つのパーツです。

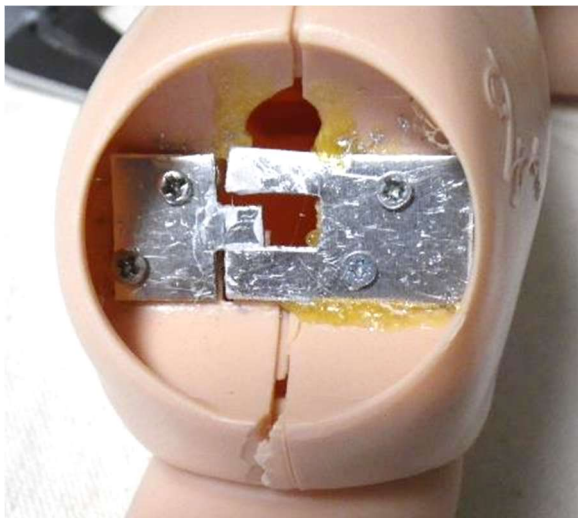




右足の付け根を見ると、無残に割れています。
ここに脚をどうやってはめ込むのか？



思案の末、1ミリ厚のアルミ板で、このような
パーツを作って、取り付ける事にしました。



アルミ板は、脚を動かす時に引っ張られる
事になるので、接着剤だけでは心もとなく、
タップねじ4本で胴体に取り付けました。

最期に胴体を前後に拡げてすき間を作り、
両脚をはめ込みました。

隙間には接着剤を入れました。

アルミ板を入れた分、右足の付根には、
ちょっとすき間が出来ましたが、なんとか
収まりました。

作業中に気が付いたのは、脚に埋め込まれた
球形の関節が、非常に動きにくい事でした。
本来ならばスムーズに回るものでしょう。

あるいはこの関節の固さが、はめ込み部や胴体に、
これほど大きな損傷が出た原因の一半かも知れ
ません。

潤滑剤をたっぷり入れて見ましたが。

以上

